



夢追人Ⅱ

太宰府市立太宰府中学校
学校通信6号(R2. 11. 12)

1 第42代生徒会が始動します！

■9月末の生徒会役員改選を経て、10月28日(水)に生徒会役員の認証式及び交代式が行われました。当日は、体育館の改修工事のため、映像を含めた放送による式となりました。これまで、生徒会長の荒川嗣健さん(3-2)をリーダーとした第41代生徒会役員の皆さん、ありがとうございました。コロナ禍の中で、十分な活動場面が取れない期間があった中、工夫と努力でしっかり全校生徒を牽引してくれました。そして、会長の杉本九龍さんを新たなリーダーとする第42代生徒会役員の皆さん、良きものは受け継ぎ、豊かなアイデアを盛り込みながら、次代の“チーム太宰府”を引っ張ってくれることを期待しています。そこで今回は、第42代生徒会役員を代表して、会長と副会長の3名の心意気を紹介します。



《会長 2年2組 杉本 九龍 さん》

■私がどんな学校を創りたいか、それはまだはっきりしていません。なぜなら、生徒の皆さんの思う学校を皆さんと共に創っていきたいと思っているからです。

■今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、様々なことが変化し続けています。身近なところでは学校行事が減り、楽しい楽しい勉強の毎日が続いていますよね。このような現状を脱するには、生徒会役員だけが案を出すのではなく、生徒の皆さんにも新しい何かを考えてほしいと思っています。どんなことでも構いません。さすがに「ディズニーランドやUSJのようなテーマパークをつくる。」と言われても難しいのですが、この学校が明るくなるのであれば、できることは取り入れたいと考えています。

■コロナの第3波にも負けない波を、この太宰府中学校で創っていきましょう。



《副会長 2年3組 清水 輝 さん》

■皆さんこんにちは。生徒会執行部副会長の清水 輝です。私はこの太宰府中学校を一人一人が輝き、皆が楽しく思うような学校にしたいと思っています。今の太宰府中学校は、まだ生徒全員が学校を楽しんでいることができていないと思っています。私たち生徒会執行部は生徒全員の意見を聴き、皆が楽しいと思える生徒会行事や取り組みを行っていきたいと考えています。そのためには、生徒全員が自分の意見を伝えることが大切です。そして、生徒会執行部への協力をお願いします。

■今年は、新型コロナウイルス感染症の関係により、学校全体が1つになれるような環境がありませんでした。そのためにも、まず、これから学校全体が1つになれるような環境をつくり、太宰府中を今まで以上に明るくしていきましょう。



《副会長 1年3組 杉本 六花 さん》

■私は、太宰府中の皆で楽しい学校を創っていきたくて考えています。

■今日一日の中で一番楽しかったことを思い浮かべてみてください。次に、その楽しかったことを仲の良い友達に話してみてください。一つの楽しさがこれで二つになりました。楽しい雰囲気、優しい気持ちは伝え広がっていきます、皆が楽しさを広げていけるように、まず私自身が楽しさや思いやりを意識して色々なことに取り組んでいきたくて思います。

■「いつやろうか、今やろうか、絶対やろう」に「みんなでやろうか」を加えて頑張っていきます。よろしくをお願いします。



② 「太中祭」開催。生徒の元気と笑顔で溢れました

■10月20日(火)～22日(木)の3日間で行われた「太中祭」。本来ならば、10月に「文化祭」として、合唱コンクールやステージ発表、展示等を行うはずでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年は文化的行事と体育的行事を抱き合わせ、新たに「太中祭」として開催されました。内容は、クラスマッチ(ドッジボール)、動画作成、部活動や授業で制作した作品展示の3つです。

■クラスマッチは、当初、20日に1年生、21日に2年生、22日に3年生と、いずれも午前中開催を予定していましたが、天候の関係で急遽、3年生は20日午後の開催に変更されました。急な変更で3年生の保護者の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、素晴らしい天候の下、どの

学年も久しぶりに思い切り体を動かしたり自分のチームに声援を送ったりと、生徒たちの元気な姿と溢れる笑顔を見ることが出来ました。



■作品展示では、美術・国語・家庭科の授業で制作した書写やレポート、絵画をはじめ、美術部の見事な作品やあさかぜ学級制作の素敵な作品まで幅広い作品が並べられました。

■また、今年、初の試みだった動画作成は、テーマを「太宰府を元気にする、観る人を幸せにするクラス動画紹介」とし、各クラス、3分～4分の動画を制作しました。各クラスの動画作成委員会を中心に、企画書を書き、撮影手順を考え、試行錯誤しながら動画の編集を行いました。音楽や字幕をいれるなど、初めての経験ばかりでしたが、さすが現代の子どもたちです。すぐにコツをつかみ、ユーモア溢れる作品を創り上げました。

■動画は、地域の自治会の皆様やおやじの会の方々に審査していただき、各学年最優秀クラスが選出されました。クラスマッチおよび動画の結果は以下の通りです。なお、動画最優秀クラスには、自治協議会から寄贈していただいた盾が、全クラスに額縁が贈られました。ありがとうございました。



* 動画作成 *

1年生 最優秀賞	1年3組 「あつまれ1-3の森」
2年生 最優秀賞	2年1組 「Don't Forget Challenges 36」
3年生 最優秀賞	3年1組 「3-1' ルーティーン」

* クラスマッチ *

1年生 優勝	1年3組
2年生 優勝	2年1組
3年生 優勝	3年2組

■以下、生徒たちの「太中祭」取組の感想の一部を紹介します。

《クラスマッチ》

全員が勝つために一生懸命していたし、みんなが団結して楽しめていた。クラス全員で1つになってスポーツをしていい思い出になった。(2年生)

《展示鑑賞》

先輩たちの作品のすごさに圧倒された。見ていてとても参考になるような作品ばかりだった。皆上手で鑑賞してとても楽しかった。(1年生)

《展示鑑賞》

美術部の作品はやっぱりうまいなと思った。なぜうまいのか考えてみたら「絵が好き」という考えにたどり着いた。好きな人はすぐに上達する。もっと絵に関心を持って楽しみながら制作することを大切にしたい。(3年生)

《動画作成》

動画作成のリーダーに選ばれたときはうまく出来るか不安でしたが、一人ひとりが自分の役割を果たしてくれたので不安はすぐに解消されました。全生徒の前でリーダーとして活躍できる動画の企画を設けてくださった方々と、協力してくれたみなさんに感謝したいです。(3年生)

《動画作成》

動画の内容を考えることが大変でした。どんな内容にすればみんなが笑ってくれるかリーダーみんなで話し合い、放課後にはパソコン室で試行錯誤を繰り返しました。そうやってたくさんの時間をかけて作った動画が予想もしていなかった最優秀賞をとれたのでとてもよかったです。いい思い出ができました。(3年生)